議員提出議案第1号

一般セーフガード(緊急輸入制限措置)の発動を求める意見書 このことについて、下記のとおり、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣 に意見書を提出する。

平成13年3月22日

提出者 三朝町議会議員 岩 井 澄 雄 賛成者 三朝町議会議員 杉 原 憲 靖 賛成者 三朝町議会議員 吉 田 公 博 賛成者 三朝町議会議員 田 栗 公 雄 賛成者 三朝町議会議員 下 住 夫 賛成者 三朝町議会議員 牧 田 武 文

平成13年3月22日原案可決 三朝町議会議長 藤 井 享

一般セーフガード (緊急輸入制限措置) の発動を求める意見書

近年、わが国へ農産物の輸入が年々増加しています。特に、野菜の輸入量は 平成2年と平成11年を比較すると232%にも増加し、さらに昨年のトマト やネギ類の1月から9月期輸入量は一昨年同期と比較して、約2倍にも急増し ており、ネギ類の市場価格は、一昨年同期(1月~10月)に比べ60%まで 落ち込んでいます。

このように、輸入野菜の激増によって野菜価格は低迷しており、生産費の回収さえもできない品目が続出し、農家の経営を著しく圧迫しています。野菜等の農産物価格の暴落は、農家への打撃に止まらず、農業関連産業全体をも危機に陥れ、長引く不況とあいまって、地域経済にも大きく影響を及ぼしつつあります。

WTO協定に基づく「緊急輸入制限」(セーフガード)は、輸入の増加が「国内生産に重大な損害を与え、または、与える恐れのある場合」は、「特定の産品の輸入に対する緊急輸入措置」をとることができると明確に定めています。

WTO協定発足以降だけでも、韓国、米国、チリなどで乳製品や豚肉、野菜、穀物などの輸入制限を行い、自国の農業を守っています。

したがって、わが国も輸入野菜等の激増によって価格が暴落し、地域農業が根底から脅かされる事態にある今、緊急輸入制限を発動することが急がれます。

よって、国においては、下記事項について格段の配慮をいただきますよう要望いたします。

は特別に因大器情記。では30億円に、アイで35000

- 1 野菜をはじめ、輸入が激増している農畜産物に対し、緊急輸入制限措置を 早急に発動すること。
- 2 緊急輸入制限措置に係る手続を簡素化すること。 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。 平成13年3月22日

鳥取県東伯郡三朝町議会

A B X 月間本版上時二 日期度

三胡叩饋会很長 蘇 并 享

- 報セーフガード(繁急権人関係措置)の発動を求める意見書

近年、おが関へ農産物の輸入が年々増加しています。特に、野菜の輸入量は 4成2年と年成11年を比較すると232%にも増加し、さらに昨年のトマト

や本ギ類の1月から9月期輸入量は一昨年同期と比較して、約2倍にも急増し

作も込んでいます。

このように、輸入野菜の微増によって野菜価格は低速しており、生産費の回 収さえもできない品目が続出し、農業の経営を著しく圧迫しています。野菜等

の最重物価格の最落は、農家への打撃に止まらず、顕素関連産業全体をも危機

ます。 WTの検索に基づく「療養輸入補限」(セーフガード)は 購入の通加が「周

内生産に重大な損害を与え、または、与える恐れのある場合」は、「特定の産品、 の能入に関する場合酶入場機」をよることはできると関係に定めています。

WTO協定発足以降だけでも、韓国、米国、テリなどで乳製品や豚肉、野菜、

したがって、わが関も輸入野菜等の満増によって船格が暴落し、地域農業が